



「目と耳と心で聴く子」の育成をめざして



学校では互いに学び合うことを通して自分の考えを広め、深めながら学んだことを確かなものにしていきます。子ども同士の学び合いが成立するためには、まずは「友達や先生の話聴ける子どもになっているか」が大切です。そのためには、相手の方に体を向けて聴くなど聴き方の習得に加えて、互いの話を聴こうとする教師と子ども、子ども同士のより良い関係ができていくことが求められます。「目と耳と心で聴く子」の育成をめざして、今後も日々の学習では、全体での意見交流に加えて、ペアやグループでの話し合い活動も積極的に取り入れて学習を進めていきます。



町たんけんに出発！ 学習支援ボランティアの皆さんの支援を受けて

25日（水）、2年生が生活科の学習で校区の町たんけんに出かけました。子どもたちは、たんけん地図とタブレットを持って、米田神社や高砂市立図書館、みのり会館、指定保存樹木のケヤキの木のところなど11カ所をたんけんしました。この後の学習のまとめや発表で活用するために、それぞれの場所に到着後、タブレットを使って写真に記録していきしました。

また、この活動を通して、あいさつや公共の場所での過ごし方なども学ぶことができた時間となりました。町たんけん当日は、4名の学習支援ボランティアの方にも同行していただき、子どもたちが安全に活動できるようご協力をいただきました。

学習支援ボランティアの皆さん、ありがとうございました。

